

その後もインフルエンザによる欠席者は両校で数名おりましたが、5月下旬には、終息しております。2点目は、体育祭、運動会の実施についてです。

新冠中学校は、6月1日土曜日に開催され、多くの保護者や、地域住民の声援を受け、大会新記録が4種目で出るなど、生徒の活躍が目立つ体育祭でした。

朝日小学校は6月8日土曜日に開催され、今年は、地域競技が3種目取り入れられ、学校・家庭・地域が一体となった盛大な運動会となりました。

新冠小学校は6月16日に開催され、保護者や地域住民など大勢の観客の声援を受け、元気に競技が行われました。

3点目は、体罰における実態調査についてであります。

昨年末、部活動中の体罰が背景にあると考えられる高校生の自殺を受け、文部科学省では、全国の小中学校を対象に体罰の状況について、2月と3月の2回に分けた実態調査が実施されました。

2月に実施した調査では、学校における体罰の事案は無かったと報告を受けておりますが、3月に実施された第2次調査では、教職員のほ

か、生徒、保護者が対象とされており、この中で小学校1年生と3年生を持つ保護者1名から体罰を受けたとの回答がありました。

事実確認のため学校長、保護者両者から状況を詳細に聞き取りましたが、保護者の思い違いによるものと判明し、この結果、当町における体罰の実態は確認されませんでした。また、体罰は、児童生徒の人権や人格を侵害する行為であり、いかなる理由があっても絶対に許されないものでありますので、今後とも様々な機会を通じて継続して指導してまいります。

**「教師の指導力と信頼される学校づくりについて」**

学校教育の直接の担い手である教員の活動は、児童生徒の発達に大きく関わるものであることから、今年度、実践的指導力を身に付けるべく、現職教職員研修会を計画しており、第1回目の研修講座を4月26日に開催しました。

ふるさと教育の一環として、今年度転入してきた教職員を中心に対象として、判官館の草花をDVDを使い紹介、説明し、新冠町への理解と今後の学校教育での指導に役立つための研修を行ないました。

**「開かれた学校経営の充実について」**

今年度5年目となる、いきいきふるさと教育を柱に据えた今年度の教育行政執行方針に基づき、各学校・園において編成された教育課程について、ヒアリングを実施しました。

校長及び園長から経営の概要について説明を受け、今後、教育委員会として指導・助言するにあたり執行方針に基づく経営方針の推進のために、環境整備などの支援に努めていきます。

また、特別支援教育の取組では、これまで、発達段階に応じた、きめ細かな指導を行うため、各小・中学校に特別支援教育支援員を1名ずつ配置してりましたが、近年、特別な支援や学習支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、新冠小学校、新冠中学校にそれぞれ1名ずつを増員し、LD、ADHDなどの傾向のある子どもへの指導を、より充実させるための援助をしております。

**認定こども園ドレ・ミの教育・保育について**

3年目を迎えたドレ・ミでは、これまでの実績と体制整備を土台にさらなる、「教育・保育の質の向上」

を図ることとしており、その一環として、6月2日には、専門講師を招き、幼児の運動能力向上に向けた研修を行ったほか、13日には、今年も昭和音大の講師による音楽教室を開催し、リトミックを取り入れた、園児への指導にあわせ、保育士に対する実地研修も行い、音楽を身近に感じる教育・保育活動への展開に繋げる実践的な研修を実施いたしました。

また、「開かれた園経営」を目指す取組として、今年度は、保護者との個人面談を年2回実施することとし、5月に第1回目を実施しました。園児の家庭や園での様子を情報交換しながら、園児に対する年間の指導内容について説明し、家庭と園の共通理解のもと、きめ細かな教育・保育を進めてまいります。

**社会教育の推進について**

**「レ・コード館での取り組み」**

5月の有料コースの入場者数は、昨年度より若干落ち込みましたが、レ・コード館の入館者総数は、約2倍近い大幅な増となりました。その要因としては、桜の開花時期のずれ込みも上げられますが、大きなものとして、観光協会によるレ・コード館前物産展の実施や路上で

実施したサックス4重奏の演奏など、新しい取組が好評だったことが考えられます。

次に本年度で開設16年目となるレ・コード館誕生記念事業を6月8日に開催いたしました。レ・コード館有料見学コースのミュージアム、レ・コードホールを1日無料開放するとともに、普段、入場者が見ることのできないレ・コード館の舞台裏などを案内いたしました。

また、ロビーでは、昨年好評を得ましたバイオリニスト瀧本志保さんの演奏とレ・コード館ジュニアジャズバンドの演奏に加え、新たにサックスプレーヤー粥川なつ紀さんの演奏を実施し、小さな子どもから高齢の方々に至るまで気軽に楽しめる内容の中、昨年を上回る入場者を迎える結果となり、盛況のうちを終了したところです。

**「青少年の取り組みについて」**

本年度6年目となる放課後子ども教室の登録人数が、新冠168名、朝日が55名と昨年度より増え、本年度も文化、スポーツ体験を取り入れるとともに、学習時間を取り入れながら好評に実施しております。

青少年事業として、昨年度実施しております資料館探検クラブを

広く、また、より充実した内容で実施することを目的に、にいかっぷ自然探検クラブ事業として、美宇の鎌田さんの協力のもと、田植え体験を実施しました。

25名の参加者は、素足で水田に入り、コロと呼ばれる昔の道具を使いながら田植えを体験し、貴重な生活文化体験の提供を図ることができました。

**「郷土資料館事業の取り組みについて」**

5月18日判官館において「判官館春の草花観察会」を行っております。

当日21名の参加者があり、天候にも恵まれ群生で咲く貴重なオオバナノエンレイソウやサクラソウを観察することができました。

**「社会体育事業の取り組みについて」**

体育協会と協力し町内巡回スポーツ教室を大狩部ケイセイマサキ建設の体育館においてスポーツ吹き矢教室を実施致しました。

地域の方と連携を図り軽スポーツの普及を実施することができました。今後、若園地区での実施も計画しております。

また、NISPOとの協力連携事業として、5月11日「日ハム野球教室」を町民グラウンドにおいて小学生を対象に実施いたしました。当日28



野球教室で指導を受ける子どもたち

名の参加があり、初歩の野球技術をプロから学ぶ貴重な体験をしております。

また、その他、一般向けのテニポン教室、ノルディックウオーキング教室などを実施し多くの参加者のもと成功裏に終了しております。

**「図書プラザに関する取り組みについて」**

4月23日から5月12日までのこどもの読書週間において、町内サークル「むぎのめ」が作成した「布の絵本」の展示及び貸出を行いました。

布の絵本は、優しい質感や作成者の材料へのこだわりにより、通常の絵本とは違った楽しさをより身近に感じることができ、来館した多くの子どもや親子連れの興味と関心を引いております。

**「社会教育施設に関する取り組みについて」**

本年度、新規に陶芸窯を購入し、整備した新冠陶芸館の改修工事が終了し、6月から通常にサークルなどへ貸館しております。

工事のため本年度当初から利用できずにご迷惑をおかけしていましたが、新しくまた、取り扱いやすい電気窯は利用者から好評を得ているところです。

終わりに、スポーツ推進委員につきました。本年度、委嘱期間満了により、新たに5名を委嘱し、中央町在住の竹内幸子氏が委員長として選任され、活動しているところであります。